

国際留学生

フォーラム中越

2009

「多文化共生社会と防災・減災」



中越大震災では、2000人を超える在日外国人の皆さんが被災しました。余震の中で、避難所のことを知らず不安な夜を過ごした人、避難所に移動したものの言葉が通じないことで途方にくれた人など、さまざまな混乱が起きました。異国の地で遭遇する自然災害はまさに命にかかわる大事件です。災害発生時の被害を減らすために、それぞれの国や地域が、外国人の皆さんに平時から情報提供を行うとともに、災害時には支援する仕組みを構築していくことが求められます。

2006年以降、中越大震災の被災地である長岡市で、「災害と防災」をテーマに開催している本フォーラム。今回は、中越地域の復旧・復興活動から生まれたさまざまな知恵や教訓を発信しながら、多文化共生社会における交流と連携を主題として開催いたします。

各国の次代を担う留学生たちとともに、中越大震災の経験を基に、在留外国人の支援、これからの災害対応、復興に関する施策や国際的な協力関係などについて議論を深めるほか、四川大震災の復興支援に力を注ぐバイマーン・ヤンジンさんのコンサートを通じて、災害と世界の「絆」について考えてまいります。

今回のフォーラムを契機として、中越・新潟から防災や被災地連携の国際的ネットワークを形成するなど、新たな知恵や協力関係を生み出す継続的な活動の展開を目指します。

2009.3.1 (SUN)

[開場] 12:30 [開会] 13:30

会場 / ホテルニューオータニ長岡
NCホール

参加
無料

《一般聴講者歓迎》



PROGRAM

12:30	受付
13:30	第1部
40	主催者挨拶
14:20	オリエンテーション 「多文化共生社会と災害—中越の経験から(仮題)」 羽賀 友信 長岡市国際交流センター所長
15:00	基調講演 「減災社会の推進と国際連携(仮題)」 田尻 直人 内閣府参事官・国際防災推進担当
16:30	パネルディスカッション 「絆は国境を越えて(仮題)」 ＜パネリスト＞ 田尻 直人 内閣府参事官・国際防災推進担当 吉樫 雅道 CODE海外災害援助市民センター 梁根榮(ヤン・クンヨン) 千葉大学大学院(韓国) 王芳(ワン・ホウ) 長岡技術科学大学大学院(中国) Hlaing Myint Oo(ライン・ミー・ウー) 長岡技術科学大学大学院(ミャンマー) ＜コーディネーター＞ 羽賀 友信 長岡市国際交流センター所長
18:15	第2部
45	コンサート 「世界に届け復興の祈り」 バイマーヤンジン 声楽家、チベット出身



バイマーヤンジン
(声楽家)

チベット出身。名前はチベット語ではペマヤンジェン、「ハスの花にのった音楽の神様」の意味。7歳の時からチベット民謡と舞踊を始める。中国国立四川音楽大学声楽学部でチベット人初の本科生として、西洋オペラを専攻。卒業後、同校専任講師に就任、中国各地でコンサートに出演する。

1994年来日後、広島アジア大会を始め、韓国ソウル、済州島での音楽祭、APEC大阪大会などに出演。99年夏にはNY国連本部コンサート公演も果たす。チベットの文化を紹介しながら、民謡や童謡を歌うトーク&コンサートにはファンが多い。

大阪で阪神・淡路大震災を経験し、被災地を応援する阪神・淡路大震災救援演奏会に出演。1997年からチベットでの小学校建設運動をはじめ、すでに2000人を超える子ども達が学ぶなど、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。

出身地のアムド地域のンガワは、中国では四川省のアバ県と呼ばれ、四川大地震の震源地だった。そのため、ふるさとを支援するために、「四川省大地震救援金」の募金活動も行っている。

◎ お問い合わせ・お申し込み先

(社)中越防災安全推進機構 復興デザインセンター

〒940-0861 長岡市川崎町2249番地1 TEL:0258-30-3460/FAX:0258-30-3560 【担当:鈴木・河内】

キリトリ線

参加申し込み

下記項目に記入の上、FAXか郵送にてお申し込みください。

1. 氏名
(代表者)

住所(聴講券郵送先) 〒 _____

電話番号
(_____) _____

2. 氏名

3. 氏名

4. 氏名

5. 氏名